

The consortium of universities in Akita

大学コンソーシアムあきた

令和元年度事業報告



秋 田 大 学
秋 田 県 立 大 学
国 際 教 養 大 学
ノースアジア大学
秋田看護福祉大学
日本赤十字秋田看護大学
秋田公立美術大学
秋田栄養短期大学
聖霊女子短期大学
日本赤十字秋田短期大学
聖園学園短期大学
秋田工業高等専門学校
放送大学秋田学習センター
秋田職業能力開発短期大学校



ごあいさつ

大学コンソーシアムあきた

理事長 **山 本 文 雄** (秋田大学長)

昨年5月から、平成に代わる新しい元号に「令和」が選ばれましたが、学識者たち、特に京都大学名誉教授の阿辻哲次先生は、この元号には「世の中を平和にさせる、という穏やかな印象にあふれている。世界が調和され、平和が永遠に達成されるというメッセージが込められているのでは」と日本経済新聞に紹介しています。一方で、本年はネズミ年で、庚子の年にあたり、また4年に一度のうるう年にあたる年で、変化の多い年とされています。昨年の5月からは、例年通りの安定した一年となりそうな状況でしたが、昨年末くらいから新型コロナウイルス感染が報告され、年が明けると、それがパンデミック化し、世界が大変な事態に追い込まれました。日本にもその感染が広まり、緊急事態宣言の発令から2ヶ月間は3密を避け、外出を自粛する要請がなされ、これまで経験したことのない異常な毎日を過ごすことになりました。令和元年度の大学コンソーシアムあきたの活動には大きな影響は出ませんでした。令和2年度の活動は、庚子の年の運勢からか、多くの事業が中止となり、さらに県内の大学生たちの中には、経済事情の悪化から、就学を断念せざるを得ない方が見込まれるものと思います。これから当コンソーシアムの活動の回復に加え大学生の経済状況の把握など、多大な労力を払わなくてはならないと覚悟をしているところではありますが、もっと大切なことは、経済状態悪化による就学断念の学生さんを一人も出さない覚悟で、構成メンバーが一人一人の学生さん達に配慮する必要があると思います。

さて、大学コンソーシアムあきたは、大学をはじめとする県内の高等教育機関の連携を礎として相互交流や教育・学術研究活動の活性化、地域貢献活動の推進に努め、毎年一定の成果をあげることができていますこと、関係者の皆さまのご協力に厚くお礼申し上げます。

秋田県は少子高齢化の著しい進行により、様々な問題が惹起されておりますことは、皆様もご存知の事と存じますが、それに加えコロナ禍によりもたらされた深刻な問題が付け加えられ、当コンソーシアムもこれまで以上の尽力を余儀なくされると感じております。今回のコロナ禍により、東京一極集中の是正が喫緊の課題と指摘されておりますが、これまで18歳人口の減少に歯止めをかけるべく、特に、県内大学が県内外の受験生から進学先として選ばれるように、当コンソーシアムは様々な努力をしてまいりましたが、今後、県内の進学希望の高校生たちが、経済的負荷のかかる県外大学から県内大学へ方向転換することも考えられ、令和2年度の活動はすこぶる重要と考えております。しかしながら、これまでのやり方がウィズコロナという状況では通用しないこともあり、例えばon-lineといった、ともすればこれまで採用できていなかった方法の導入も考えていかななくてはならないと感じています。あらゆる手段を駆使し、各大学等が有する教育研究資源のすばらしさを、引き続き県民にしっかりと理解していただき、構成機関相互の交流と教育・学術研究活動の活性化に邁進すると同時に、少しでもこういった面からの地域社会貢献に繋げていくよう頑張りたいと存じます。

令和元年度の当コンソーシアムの事業は、中等教育部門への教育資源提供のための高大連携授業、秋田県内の学生等を対象とした単位互換事業、加盟機関教職員の連携によるFD・SD事業、学生が自主的に共同で取り組む活動に支援を行う学生交流活動支援事業、教員の連携による学際的研究プロジェクトなどを中心に活動を行ってまいりました。その活動実績について本報告書にまとめておりますので、是非ご一読ください。

特に、高校生が大学等の講義を受講できる高大連携授業については、秋田県内各高等学校にご協力いただき、平成29年度より県北・県南地域の高等学校を会場とした授業も開講しており、令和元年度は前後期あわせて約1,260名の申込がありました。県内高校生の進路選択の一助として、引き続き積極的に当コンソーシアムの資源をご活用いただければ幸いです。

今後とも本コンソーシアム事業の発展にお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

高大連携授業

高校生を対象に各大学が企画授業を提供することにより大学の授業科目の一端に触れてもらい、学問への興味喚起と進路について考えてもらう機会を提供した。

前期開講科目

科目名	科目担当者	男性	女性	合計
1 英語の楽しさ再発見	秋田大学教育文化学部 准教授 若有保彦 (計5名)	5	17	22
2 大学の基礎生物実験入門	秋田大学教育文化学部 教授 石井照久	1	6	7
3 「フランス語・フランス文化」入門	秋田大学教育文化学部 准教授 辻野稔哉	5	15	20
4 秋田の今とこれから	秋田大学教育文化学部 准教授 白木智昭	11	65	76
5 最新の遺伝子組換えからバイオ創薬への道・基礎コース	秋田大学理工学部 教授 正田正喜	4	11	15
6 基礎から創薬までを学ぶ蛋白質の科学・基礎コース	秋田大学理工学部 教授 尾高雅文	2	7	9
7 身近な有機化学・有機化合物	秋田大学理工学部 教授 藤原憲秀	3	7	10
8 高校生のための応用化学	秋田大学理工学部 教授 後藤猛 (計5名)	5	5	10
9 高校生のための最新人間情報学	秋田大学理工学部 教授 水戸部一孝 (計3名)	24	8	32
10 自然災害と防災の基礎	秋田大学地方創生センター 准教授 鎌滝孝信	2	3	5
11 C言語プログラミング	秋田県立大学システム科学技術学部 准教授 廣田千明 (計4名)	17	5	22
12 コンピュータ、役に立ちます	秋田県立大学システム科学技術学部 准教授 廣田千明 (計4名)	3	3	3
13 微積と物理の密着な関係	秋田県立大学総合科学教育研究センター 准教授 宮本雲平	12	6	18
14 バイオテクノロジーへの招待	秋田県立大学生物資源科学部 教授 中沢伸重 (計5名)	9	11	20
15 植物とその生産を科学する	秋田県立大学生物資源科学部 准教授 櫻井健二 (計4名)	3	4	7
16 おもしろ生物学 ここだけの話	秋田県立大学生物資源科学部 准教授 佐藤(永澤)奈美子 (計5名)	13	14	27
17 高校で学ぶ生物はどこまで進んでいるか?	秋田県立大学生物資源科学部 准教授 頼泰樹 (計3名)	5	7	12
18 生物環境科学への招待	秋田県立大学生物資源科学部 准教授 早川敦 (計4名)	8	6	14
19 高校生のためのアグリビジネス入門	秋田県立大学生物資源科学部 教授 露崎浩 (計4名)	9	14	23
20 国際教養学への招待	国際教養大学国際教養学部 助教 堀井里子 (計5名)	11	51	62
21 選択の科学：経済学入門	ノースアジア大学経済学部 教授 坂元浩一 (計5名)	6	15	21
22 世界史の中の憲法学	ノースアジア大学法学部 教授 佐藤寛稔	2	7	9
23 高校生のための安全保障学	ノースアジア大学法学部 准教授 佐藤克枝	2	10	12
24 法心理学でトラブル解決!	ノースアジア大学法学部 准教授 瀧澤純	5	18	23
25 高校生の国際観光学①	ノースアジア大学法学部 准教授 瀧森威 (計4名)	25	25	25
26 高校生の国際観光学②	ノースアジア大学法学部 准教授 瀧森威 (計3名)	21	21	21
27 医事法への招待	ノースアジア大学国家試験等センター 助教 岡崎頌平	5	40	45
28 医療・介護に関わる法と政策	ノースアジア大学国家試験等センター 講師 楠山大暁	1	13	14
29 ようこそ看護学の世界へ	秋田看護福祉大学看護福祉学部 教授 水木暢子 (計4名)	5	40	45
30 福祉学の探究	秋田看護福祉大学看護福祉学部 教授 工藤久 (計4名)	2	11	13
31 高校生のための看護学入門	日本赤十字秋田看護大学看護学部 准教授 佐々木三和 (計2名)	4	155	159
32 自然から芸術を学ぶ	秋田公立美術大学 アーツ&ルーツ専攻 准教授 村山修二郎	1	10	11
33 多様な美術の価値観を知る	秋田公立美術大学 ビジュアルアーツ専攻 教授 鳥屋純晴	10	10	10
34 立体構成入門	秋田公立美術大学 ものづくりデザイン専攻 教授 安藤康裕, 准教授 熊谷晃	14	14	14
35 デザインってどんな仕事?	秋田公立美術大学 ものづくりデザイン専攻 教授 今中隆介	2	18	20
36 デザインは何のために?!	秋田公立美術大学 コミュニケーションデザイン専攻 教授 阪口正太郎	1	19	20
37 パウハウス100周年	秋田公立美術大学 美術教育センター 教授 天貝義教	1	4	5
38 日本古建築の魅力	秋田公立美術大学 美術教育センター 教授 澤田亨	14	14	14
39 食生活と健康	秋田栄養短期大学栄養学科 教授 廣川忠男 (計4名)	15	15	15
40 初めての言語学	聖霊女子短期大学生活文化科 講師 ジョン サーロー	10	10	10
41 ようこそ保育の道へ	聖霊女子短期大学生活文化科 講師 畠山君子 (計5名)	1	27	28
42 食品と栄養の基礎知識	聖霊女子短期大学生活文化科 教授 塚田三香子 (計5名)	19	19	19
43 身近な社会福祉の問題を考えてみよう	日本赤十字秋田短期大学介護福祉学科 教授 土室修 (計2名)	2	25	27
44 楽しく学べる保育入門	聖園学園短期大学保育科 教授 内藤裕子 (計5名)	48	48	48

※申込実人数=803人 (男性:158人, 女性:645人) 科目延べ人数1,042人
(開講中止科目に係る者を含む)

後期開講科目

科目名	科目担当者	男性	女性	合計
1 秋田大学教育文化学部「国際文化コース」で学ぼう! 2019	秋田大学教育文化学部 准教授 辻野稔哉 (計4名)	7	15	22
2 地域資源と地域活性化	秋田大学教育文化学部 准教授 白木智昭	4	29	33
3 覗いてみようメディカルスタッフの研究	秋田大学医学部 助教 石井奈智子 (計3名)	1	31	32
4 最新の遺伝子組換え技術への道 (応用)	秋田大学理工学部 教授 疋田正喜	1	8	9
5 最新の免疫学と治療薬開発への道 (発展)	秋田大学理工学部 教授 疋田正喜	1	7	8
6 データサイエンスと人工知能	秋田大学理工学部 教授 河上肇	16	12	28
7 ものづくりにおける価格と品質	秋田大学大学院理工学研究科 教授 三島望	5	2	7
8 「教師ミニミニ体験」*	秋田大学 高大接続センター 教授 伊藤成年 (計3名)	12	31	43
9 英語テスト研究入門	秋田大学 高大接続センター 助教 木幡隆宏	6	11	17
10 社会を支える情報通信技術	秋田県立大学システム科学技術学部 教授 磯田陽次 (計5名)	5	1	6
11 コンピュータ、もっと役に立ちます	秋田県立大学システム科学技術学部 准教授 廣田千明 (計4名)	2	1	3
12 高校数学から大学への数学へ	秋田県立大学システム科学技術学部 教授 木村寛	11	4	15
13 経営の中の数学	秋田県立大学システム科学技術学部 准教授 星野満博	2	5	7
14 異文化コミュニケーション入門	秋田県立大学総合科学教育センター 助教 タッカー・ジェイソンエドワード	1	5	6
15 不思議な木	秋田県立大学木材高度加工研究 教授 高田克彦 (計4名)	2	2	4
16 国際教養学への招待	国際教養大学国際教養学部 教授 陳風 (計5名)	6	25	31
17 経済学で現代日本を考える	ノースアジア大学経済学部 専任講師 島山光史	1	3	4
18 世界の大都市の地図で迎える外国投資論	ノースアジア大学経済学部 教授 坂元浩一	2	5	7
19 現代経済学の基礎 (「私」の問題)	ノースアジア大学経済学部 准教授 西巻丈児	1	7	8
20 現代経済学の基礎 (時間の問題)	ノースアジア大学経済学部 准教授 西巻丈児	1	5	6
21 「宗教と政治」からみる政治思想史	ノースアジア大学法学部 講師 中村逸春		3	3
22 心理学と人間科学からみた法学	ノースアジア大学法学部 准教授 瀧澤純	6	27	33
23 日本社会と憲法	ノースアジア大学法学部 教授 佐藤寛稔	3	2	5
24 高校生のための国際観光論	ノースアジア大学法学部 准教授 瀧森威 (計6名)	1	5	6
25 高校生のための看護学入門	日本赤十字秋田看護大学看護学部 講師 新沼剛 (計2名)	3	46	49
26 ガラスの性質と造形	秋田公立美術大学ものづくりデザイン専攻 准教授 瀬沼健太郎	1	9	10
27 型染でホントの「マイ・バッグ」を作ろう!	秋田公立美術大学ものづくりデザイン専攻 准教授 森香織	1	8	9
28 都市の建築と風景、街のディテール	秋田公立美術大学景観デザイン専攻 教授 小杉栄次郎	5	7	12
29 高校生のスポーツ栄養学	聖霊女子短期大学生活文化科 教授 長嶋智子 (計2名)		23	23
30 高校生のための介護福祉入門	日本赤十字秋田短期大学介護福祉学科 講師 及川真一 (計2名)		8	8
31 地域資源と地域活性化 (横手会場)	秋田大学教育文化学部 准教授 白木智昭	1	6	7
32 地域資源と地域活性化 (能代会場)	秋田大学教育文化学部 准教授 白木智昭	6	6	12
33 「教師ミニミニ体験」(大館会場)*	秋田大学 高大接続センター 教授 伊藤成年	10	26	36

※申込実人数=457人(男性:113人,女性:344人) 科目延べ人数509人
(開講中止科目に係る者を含む)

*秋田大学の令和元年度『教師ミニミニ体験』事業 高校生教職体験プログラム事業参加者を含む(大学生は含まない)

受講申込者の内訳

●男女別 (実人員)

	令和元年度 〈前期54科目〉	令和元年度 〈後期45科目〉	30年度 〈前期40科目〉	30年度 〈後期44科目〉	29年度 〈前期37科目〉	29年度 〈後期54科目〉
男性	158人 (19.7%)	113人 (24.7%)	167人 (23.2%)	81人 (17.9%)	121人 (20.9%)	69人 (24.6%)
女性	645人 (80.3%)	344人 (75.3%)	552人 (76.8%)	372人 (82.1%)	458人 (79.1%)	211人 (75.4%)
合計	803人 (100.0%)	457人 (100.0%)	719人 (100.0%)	453人 (100.0%)	579人 (100.0%)	280人 (100.0%)

大学生女子1名含む

	28年度 〈前期32科目〉	28年度 〈後期21科目〉	27年度 〈前期32科目〉	27年度 〈後期20科目〉	26年度 〈前期36科目〉	26年度 〈後期21科目〉
男性	131人 (20.9%)	54人 (21.3%)	87人 (19.2%)	29人 (16.9%)	132人 (21.4%)	45人 (26.8%)
女性	497人 (79.1%)	200人 (78.7%)	367人 (80.8%)	143人 (83.1%)	485人 (78.6%)	123人 (73.2%)
合計	628人 (100.0%)	254人 (100.0%)	454人 (100.0%)	172人 (100.0%)	617人 (100.0%)	168人 (100.0%)

● 地域別 (実人員)

	令和元年度 〈前期54科目〉	令和元年度 〈後期45科目〉	30年度 〈前期40科目〉	30年度 〈後期44科目〉	29年度 〈前期37科目〉	29年度 〈後期54科目〉
鹿角小坂地域	2人 (0.2%)	1人 (0.2%)	12人 (1.7%)	0人 (0.0%)	9人 (1.6%)	2人 (0.7%)
大館北秋地域	64人 (8.0%)	41人 (9.0%)	70人 (9.7%)	26人 (5.7%)	82人 (14.2%)	20人 (7.1%)
能代山本地域	59人 (7.3%)	69人 (15.1%)	41人 (5.7%)	39人 (8.6%)	31人 (5.4%)	28人 (10.0%)
秋田男鹿地域	489人 (60.9%)	266人 (58.2%)	417人 (58.0%)	292人 (64.5%)	312人 (53.9%)	134人 (47.9%)
本荘由利地域	71人 (8.8%)	38人 (8.3%)	52人 (7.2%)	36人 (7.9%)	42人 (7.3%)	26人 (9.3%)
大曲仙北地域	75人 (9.3%)	10人 (2.2%)	30人 (4.2%)	6人 (1.3%)	62人 (10.7%)	41人 (14.6%)
横手平鹿地域	16人 (2.0%)	4人 (0.9%)	38人 (5.3%)	14人 (3.1%)	29人 (5.0%)	24人 (8.6%)
湯沢雄勝地域	27人 (3.4%)	28人 (6.1%)	59人 (8.2%)	40人 (8.8%)	12人 (2.1%)	5人 (1.8%)
秋田県外	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
合 計	803人 (100.0%)	457人 (100.0%)	719人 (100.0%)	453人 (100.0%)	579人 (100.0%)	280人 (100.0%)

大学生女子1名含む

	28年度 〈前期32科目〉	28年度 〈後期21科目〉	27年度 〈前期32科目〉	27年度 〈後期20科目〉	26年度 〈前期36科目〉	26年度 〈後期21科目〉
鹿角小坂地域	15人 (2.4%)	0人 (0.0%)	6人 (1.3%)	0人 (0.0%)	18人 (2.9%)	2人 (1.2%)
大館北秋地域	72人 (11.5%)	9人 (3.5%)	37人 (8.1%)	13人 (7.6%)	69人 (11.2%)	3人 (1.8%)
能代山本地域	29人 (4.6%)	10人 (3.9%)	17人 (3.7%)	6人 (3.5%)	26人 (4.2%)	4人 (2.4%)
秋田男鹿地域	361人 (57.5%)	181人 (71.3%)	267人 (58.8%)	113人 (65.7%)	353人 (57.2%)	96人 (57.1%)
本荘由利地域	48人 (7.6%)	18人 (7.1%)	44人 (9.7%)	12人 (7.0%)	71人 (11.5%)	17人 (10.1%)
大曲仙北地域	67人 (10.7%)	7人 (2.8%)	21人 (4.6%)	7人 (4.1%)	55人 (8.9%)	35人 (20.8%)
横手平鹿地域	21人 (3.3%)	12人 (4.7%)	46人 (10.1%)	16人 (9.3%)	24人 (3.9%)	7人 (4.2%)
湯沢雄勝地域	15人 (2.4%)	17人 (6.7%)	16人 (3.5%)	5人 (2.9%)	1人 (0.2%)	3人 (1.8%)
秋田県外	0人 (0.0%)	1人 (0.6%)				
合 計	628人 (100.0%)	254人 (100.0%)	454人 (100.0%)	172人 (100.0%)	617人 (100.0%)	168人 (100.0%)

● 学年別 (実人員)

	令和元年度 〈前期54科目〉	令和元年度 〈後期45科目〉	30年度 〈前期40科目〉	30年度 〈後期44科目〉	29年度 〈前期37科目〉	29年度 〈後期54科目〉
1年生	126人 (15.7%)	135人 (29.5%)	155人 (21.6%)	197人 (43.5%)	126人 (21.8%)	89人 (31.8%)
2年生	309人 (38.5%)	263人 (57.5%)	278人 (38.7%)	215人 (47.5%)	156人 (26.9%)	127人 (45.4%)
3年生	368人 (45.8%)	59人 (12.9%)	286人 (39.8%)	41人 (9.1%)	297人 (51.3%)	64人 (22.9%)
合 計	803人 (100.0%)	457人 (100.0%)	719人 (100.0%)	453人 (100.0%)	579人 (100.0%)	280人 (100.0%)

大学生女子1名含む

	28年度 〈前期32科目〉	28年度 〈後期21科目〉	27年度 〈前期32科目〉	27年度 〈後期20科目〉	26年度 〈前期36科目〉	26年度 〈後期21科目〉
1年生	140人 (22.3%)	80人 (31.5%)	96人 (21.1%)	58人 (33.7%)	109人 (17.7%)	39人 (23.2%)
2年生	232人 (36.9%)	132人 (52.0%)	138人 (30.4%)	77人 (44.8%)	172人 (27.9%)	80人 (47.6%)
3年生	256人 (40.8%)	42人 (16.5%)	220人 (48.5%)	37人 (21.5%)	336人 (54.5%)	49人 (29.2%)
合 計	628人 (100.0%)	254人 (100.0%)	454人 (100.0%)	172人 (100.0%)	617人 (100.0%)	168人 (100.0%)

■ 単位互換授業

秋田県における大学、短期大学及び高等専門学校間の単位互換に関する協定及び授業の運営状況

1. 科目提供の状況

No	機関名	年度	令和元年度		平成30年度		平成29年度		平成28年度		平成27年度	
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
1	秋田大学		53	38	22	20	38	21	40	27	41	29
2	秋田県立大学		194	194	193	174	196	189	210	191	210	181
3	国際教養大学		3	5	2	2	3	2	2	2	2	2
4	ノースアジア大学		22	16	19	17	20	19	15	16	22	19
5	秋田看護福祉大学		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	日本赤十字秋田看護大学		3	3	4	3	4	3	2	3	3	1
7	秋田公立美術大学		8	5	11	6	12	0	12	8	12	8
8	秋田栄養短期大学		4	2	4	1	4	1	4	1	2	3
9	聖霊女子短期大学		3	3	3	3	3	3	3	3	2	3
10	日本赤十字秋田短期大学		1	1	1	1	1	1	1	2	2	1
11	聖園学園短期大学		1	0	1	0	1	1	2	1	3	2
12	秋田工業高等専門学校		0	3	0	2	0	2	0	3	0	3
	計		292	270	260	229	282	242	291	257	299	252
	うちカレッジプラザ開講		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2. 履修登録者の状況

年度・期	令和元年度		平成30年度		平成29年度		平成28年度		平成27年度	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
実 人 員	4	2	3	1	1	1	3	1	0	9
科目 延 べ 人 数	4	2	3	1	1	1	5	1	0	9
科 目 数	3	2	3	1	1	1	3	1	0	5
協 定	H22. 4. 1 ~ 12機関									

3. 令和元年度 履修登録者内訳

〈前期〉 聖霊女子短期大学 → 秋田大学「地球環境と化学元素A」
 秋田公立美術大学 → 秋田県立大学「構造力学I」
 秋田公立美術大学 → 秋田県立大学「音響工学」

延べ 4人 3科目 (実人員4人)

〈後期〉 ノースアジア大学 → 日本赤十字秋田短期大学「ボランティア活動論」
 聖霊女子短期大学 → 秋田公立美術大学「近代デザイン史特講」

延べ 2人 2科目 (実人員2人)

■ FD・SD事業

県内の14高等教育機関における教育機能の強化を目的に、高等教育セミナーを実施。特に、本セミナーでは高等教育に関わる個々人の知識・技術、そして意識が向上するようなプログラムを企画した。

テ ー マ 「学生エンゲージメント」

日 時 令和元年10月12日(土) 13:00~16:30

開催場所 カレッジプラザ講堂

実施内容 基調講演

演題 「大学における学生エンゲージメントと自立を促す支援としかけ」

講師 山田 剛史 准教授

(京都大学高等教育研究開発推進センター(兼任) 大学院教育学研究科(高等教育学コース))

教育実践事例報告

共通テーマ 「正課内外で学生の主体性や自立を促す組織的な取り組み」

- 学習者の主体性や自立を促す取組～教員養成及び小学校の事例から～
秋田大学 教育文化学部 細川 和仁 准教授
- 学生自主研究制度～学生の好奇心に応える教育プログラム～
秋田県立大学 生物資源科学部応用生物科学科 水野 幸一 准教授
- 産学官民連携としてのJR東日本寄付講座の取り組み
国際教養大学 アジア地域研究連携機構 副機構長 根岸 洋 准教授
- コミュニティデザイン演習の記録～彌高神社オリジナル御守袋デザインの実践報告～
秋田公立美術大学 美術学部美術学科 官能 右泰 教授

参加者数 51名（スタッフ含む）

職員研修事業

構成機関教職員の大学運営に関する能力をはじめ、幅広い知識の涵養など一層の資質向上をねらい研修事業に参加した。

【第16回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム】

日時 令和元年8月31日（土）～9月1日（日）
テーマ 大学コンソーシアムとともに始まる大学づくり
会場 熊本学園大学
参加者 南部 直気（日本赤十字秋田看護大学）

○プレイベント：ワークショップ

「大学コンソーシアムの運営における課題とその解決に向けて
～課題から紐解く大学コンソーシアムのあり方～第2弾（ワークショップ）」
【コーディネーター】西本 聡子 氏（大学コンソーシアム大阪）

○基調講演

【講演者】姜 尚 中 氏（熊本県立劇場 館長）
【テーマ】「大学コンソーシアムとキャンパスアジアの可能性」

○シンポジウム「大学コンソーシアムとともに始まる大学づくり」

【コーディネーター】半藤 英明 氏（大学コンソーシアム熊本 代表理事・熊本県立大学長）
【シンポジスト①】甲斐 隆博 氏（熊本経済同友会 代表幹事）
【シンポジスト②】小野 泰輔 氏（熊本県 副知事）
【シンポジスト③】中山 峰男 氏（崇城大学 理事長・学長）

○文教行政報告

【講演者】三浦 和幸 氏（文部科学省 高等教育局 大学振興課長）
【テーマ】高等教育政策の動向について

○分科会

- 第1分科会 〈一般社団法人 教育ネットワーク中国〉
テーマ 大学コンソーシアムにおけるFD・SD研修
- 第2分科会 〈公益社団法人 大学コンソーシアム京都〉
テーマ 障がい学生支援と大学コンソーシアム
- 第3分科会 〈一般社団法人 大学コンソーシアム熊本〉
テーマ 危機管理と大学の地域貢献 - 震災対応を事例として -
- 第4分科会 〈特定非営利活動法人 大学コンソーシアム大阪〉
テーマ 人・大学・まちの成長、発展に繋げる大学コンソーシアムの活動とは
- 第5分科会 〈公益社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩〉
テーマ 地域活性化人材をどう育成するか

■ 学生交流活動支援事業

大学コンソーシアムあきた構成機関の学生が共同して取り組んでいるボランティア、地域貢献、国際交流等の活動に対し、経済的支援を行った。

(1) 「ちいきと だんわと がくせいと 学生団体による活動紹介&ポスターセッション」

参加団体名 ARCグループ (秋田大学), 地域とつながり隊 (秋田大学), 地域おこしProject (秋田県立大学), AUWA/会う輪, 秋田若者活性化委員会FROM PROJECT秋田 (国際教養大学), B愛STARピアサークル (秋田看護福祉大学), 赤十字防災ボランティアステーション, Red Cross Relief Club, 赤十字奉仕団 (日本赤十字秋田看護大学, 日本赤十字秋田短期大学), つちのあかり (秋田公立美術大学), 地域交流活性化研究会 (秋田工業高等専門学校)

活動概要 学生団体が地域交流活動を通して県民の皆さんにその活動を知ってもらい、会話や談話を通して理解をより一層深めることができた。

■ 学際的研究プロジェクト

大学コンソーシアムあきた構成機関の研究者が共同して取り組む秋田県の地域課題の解決や活性化に結びつく研究、本構成機関の教育開発に寄与する調査研究等に経費の助成を行った。

(1) 「地域プロスポーツクラブチームの地域貢献活動がファン獲得に及ぼす効果の調査」

共同研究チーム 秋田大学 白木 智昭 (プロジェクト代表)
秋田大学 伊藤 慎一
秋田県立大学 嶋崎 善章

研究概要 「地域プロスポーツチームにとって重要性を増している地域貢献活動が、地域住民やファンに対し、チームへの愛着や認知度向上に及ぼす影響について、ケーススタディにより解明すること」の事例収集を行い、効果を明らかにすることを旨とした

秋田の大学間連携活動はこちら！
大学コンソーシアムあきたの情報はホームページで
ご案内しております。



大学コンソーシアムあきたホームページURL

<https://www.consortium-akita.jp>

大学コンソーシアムあきたの活動拠点

カレッジプラザ



大学コンソーシアムあきた事務局
〒010-8502
秋田市手形学園町1-1
秋田大学総合学務課内
Tel 018(889)2843
Fax 018(889)3194

カレッジプラザ
〒010-0001
秋田市中通2-1-51 明徳館ビル2F
Tel 018(825)5455
Fax 018(836)5388

[令和2年8月発行]